

2) 嘉瀬川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

【資料 1】

- ・ 取り組み実施状況

取り組み実施状況

区分:嘉瀬川流域

令和7年2月時点

・朱書き:流域治水プロジェクトと重複が少ないと考えられる施策

●:対策が完了したもの
○:対策を継続するもの
△:現時点で未定のもの

具体的な取組の柱	事項	具体的な取組項目	取組機関					取り組み実施状況				
			佐賀河川 気象台	佐賀県	佐賀市	小城市	地域住民	佐賀河川事務所	佐賀地方気象台	佐賀県	佐賀市	小城市
1. ハード対策	■洪水を安全に流すためのハード対策	ー 堤防整備・河道掘削・堤防の浸透対策	○	○				○		○		
	■危機管理型ハード対策	ー 堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強	○	○				流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
	■避難行動、水防活動、排水活動等に資する基盤等の整備	① 切迫感のある防災情報の提供に向けた河川カメラ等による堤防監視、施設監視の強化	○	○				流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		② 円滑な避難に資するための避難所案内看板の設置			○	○	○			●	●	●
		③ 広域避難や支援を目的とした河川堤防と地域高規格道路との接続	○		○			○		○		
		④ 住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置			○					○		
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組	【水害リスク情報の共有】	① 水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用の推進			○	○	活用	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		② 想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	○		○			○		○		
	【防災意識の啓発】	③ 防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充	○		○	○	活用・参加	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		④ 防災意識向上と迅速な避難に役立つまごまちごとハザードマップ整備	○		○	○	活用	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		⑤ 水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	○	○	○	○	参加	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		⑥ あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	○	○	○	○	活用	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
	【リアルタイム防災情報の共有】	⑦ 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	○	○	○	○	活用	○	○	○	△	△
	【避難勧告等の発令】	⑧ 避難に着目したタイムラインの作成、改善	○		○	○	○	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
	【住民等への防災情報の周知】	⑨ プッシュ型洪水情報等の情報発信	○		○			流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		⑩ 防災情報総合サイトの活用と周知	○		○		活用	○		○		
		⑪ 様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化(多重化)			○	○	活用	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		⑫ 避難に着目したタイムラインに基づく実践的な訓練	○		○	○	○	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
	【避難行動に繋がる訓練】	⑬ 要配慮者利用施設等との避難訓練の促進			○	○	○	活用・参加	流域治水プロジェクト2.0にて実施中			
		⑭ 水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	○		○	○	○	参加	△		△	○
	【河川巡視情報の共有】	⑮ 重要水防箇所の合同巡視	○		○	○	○	参加	○		○	○
② 広大な低平地である流域特性を踏まえた広域的な避難行動へ向けた取組	【避難場所や避難路の確保】	① 広域避難に係る自治体間での相互応援体制の構築に向けた取組			○	○	○			○	○	○
		② 避難所・避難経路の安全性確認及び見直し				○	○	活用	流域治水プロジェクト2.0にて実施中			
		③ 長期的かつ広範囲な浸水特性を踏まえた基幹避難所等における備蓄の強化			○	○	○			○	○	○
		④ 要配慮者利用施設等との避難訓練の促進(再掲)			○	○	○	活用・参加	流域治水プロジェクト2.0にて実施中			
	【長期浸水リスクの周知】	⑤ 水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大(再掲)	○	○	○	○	○	参加	流域治水プロジェクト2.0にて実施中			
		⑥ あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(再掲)	○	○	○	○	○	活用	流域治水プロジェクト2.0にて実施中			
		⑦ 早期の社会機能の回復に向けた企業向けの水害BCPの取組の推進	○		○			○		○		
	【水防活動等】	⑧ 関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	○		○	○	○	参加	流域治水プロジェクト2.0にて実施中			
		⑨ 自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化				○	○	参加			○	○
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組	【既存施設運用等】	① 大規模浸水に備えた排水ポンプ車や排水機場を活用した訓練	○					○		○		
		② ポンプ運転調整に関する取組の周知	○		○	○	○	○		○	○	△
		③ 氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討、策定	○		○			△		△		
		④ 豪雨に備えたため池やクレークの早期排水				○	○	流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
		⑤ ダムの危機管理型運用の検討	○		○			流域治水プロジェクト2.0にて実施中				
	【水防資機材等】	⑤ 水防資機材の保有状況の確認、見直し	○		○	○	○	参加	○		○	○

2) 嘉瀬川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

【資料1】

- ・ 流域タイムライン

嘉瀬川流域タイムライン【第2版(202502)】

嘉瀬川流域模式図			(1) 3日前準備	(2) 1日前準備	(3) 水防団待機水位	(4) 氾濫注意水位	(5) 避難判断水位	(6) 氾濫危険水位	(7) 氾濫発生
●：国管理区画 ●：県管理区画/水位層加河川 ▲：国の水位観測所（基準観測所） ▲：県の水位観測所 ▲：国の基準水位観測所の受け持ち区間 嘉瀬川 佐賀市 北山ダム 嘉瀬川ダム 嘉瀬川 川上 嘉瀬川 本庄江 今重橋 徳万 有明海			気象情報 □早期注意情報(警報級の可能性)で(中)以上 □全般台風情報、全般気象情報(予告) □府県気象情報(予告) ・嘉瀬川流域に台風の接近による大雨や前線等による大雨が予想される場合 ・(半日前～)線状降水帯予測キーワードを含む ・(半日前～)大雨注意報(浸水害・土砂災害)・洪水注意報 ・満潮時刻		水防団待機水位超過 川上:3.00m(佐賀、小城)	氾濫注意水位超過 川上:4.20m(佐賀、小城)	避難判断水位超過 川上:4.80m(佐賀、小城)	氾濫危険水位超過 川上:5.70m(佐賀、小城)	氾濫発生 ○洪水による災害が発生 ○土砂災害が発生 ○府県気象情報 ○臨時の洪水予報 ・線状降水帯予測キーワードを含む ・満潮時刻
流域タイムラインの段階移行の基準		国管理河川の水位情報	現況						□氾濫する可能性のある水位 川上:8.30m(佐賀、小城)
		予測							□氾濫する可能性のある水位 徳万:10.38m(小城)
県管理河川の水位情報					水防団待機水位超過 紙園:1.20m(小城)	氾濫注意水位超過 今重橋:TP2.91m(佐賀) 紙園:1.50m(小城)	避難判断水位超過 紙園:2.30m(小城)	氾濫危険水位超過 今重橋:TP3.10m(佐賀) 紙園:2.57m(小城)	
関係機関共通対応			□流域タイムライン発動の内部周知 □大雨・台風説明会への参加 □Web会議ツールによる情報共有	□流域注意段階への移行の内部周知 □大雨・台風説明会へ参加 □Web会議ツールによる情報共有	□流域警戒段階への移行の内部周知 □Web会議ツールによる情報共有	□早期避難段階への移行の内部周知	□避難段階への移行の内部周知	□避難完了段階への移行の内部周知	災害発生
佐賀地方気象台			□下記情報の提供 ・早期注意情報(警報級の可能性) ・気象台からのコメント ・全般台風情報、全般気象情報 ・府県気象情報 ・大雨注意報(浸水害・土砂災害)・洪水注意報 ・気象台ネットライン □防災メール □WEB会議ツールによる危機感の共有(台風説明会、大雨気象解説等) □佐賀河川事務所との合同記者会見(必要に応じて)	□下記情報を提供 ・大雨注意報(浸水害・土砂災害)・洪水注意報 ・土砂災害警戒情報発表(嘉瀬川流域内) ・記録的短時間大雨情報 ・気象台からのコメント ・早期注意情報(警報級の可能性) ・気象台ネットライン ・洪水予報:予測情報	・顕著な大雨に関する気象情報(線状降水帯の発生) ・土砂災害警戒情報発表(嘉瀬川流域内) ・記録的短時間大雨情報 ・キキクル(浸水・洪水・土砂) 黄色⇒赤色⇒紫色⇒黒色 ・洪水予報:氾濫注意情報 ・洪水予報:氾濫警戒情報	・大雨特別警報(浸水害・土砂災害) ・台風特別警報	・洪水予報:氾濫危険情報 ・臨時の洪水予報(大雨特別警報解除後)	□下記情報を提供 ・大雨特別警報[浸水害・土砂災害] ・洪水予報:氾濫発生情報 ・キキクル(浸水・洪水・土砂)黒色 ・臨時の洪水予報(大雨特別警報解除後) □佐賀河川事務所との合同記者発表(必要に応じて) □気象台ネットライン □JETT派遣	
九州地方整備局			□福岡管区気象台との合同記者発表 □インターネット(川の防災情報、水害リスクライン等)でリアルタイム情報提供 □気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)	□福岡管区気象台との合同記者発表 □リエンゾ派遣(台風接近時) ※特別警報級の恐れがある場合 □TEC-FORCE(排水ポンプ車、照明車等)前進配備計画・準備 ※特別警報級の恐れがある場合	□福岡管区気象台との合同記者発表 □災害情報について情報収集	□福岡管区気象台との合同記者発表 □警戒体制の発令 □洪水予報(氾濫注意情報・予測情報) □警戒体制の発令 □洪水予報(氾濫警戒情報・予測情報) □水防警報(出動) □河川巡視で確認された被害情報を市町へ連絡 □リエンゾ派遣に関する確認	□福岡管区気象台との合同記者発表 □被害情報等の把握(以後継続) □警戒体制の発令 □洪水予報(氾濫警戒情報・予測情報) □水位周知(氾濫警戒情報) □水防警報(警戒) □ホットライン(避難判断水位到達)(河川事務所一員) □漏水・浸食情報提供 □樋門・樋管操作状況、操作員退避の情報共有 □リエンゾ派遣に関する確認	□福岡管区気象台との合同記者発表 □警戒体制の発令 □洪水予報(氾濫危険情報) □水位周知(氾濫危険情報) □緊急通報メール □ホットライン(氾濫危険水位到達及び予測水位が氾濫危険水位及び氾濫する可能性のある水位に到達)(河川事務所一員) □堤防等の河川管理施設の被害、内水や市町の避難・被害、水防団の活動状況の情報収集(以後継続) □樋門・樋管操作員への退避指示 □排水機場運転調整(停止)開始準備・開始水位到達の通知 □リエンゾ派遣に関する確認	□福岡管区気象台との合同記者発表 □被害状況等の把握(以後継続) □警戒体制の発令 □洪水予報(氾濫発生情報) □水位周知(氾濫発生情報) □緊急通報メール □災害応援・災害対策機械等の要請・出動・受け入れ □現地対策支隊の設置 □排水機場運転調整(停止)指示 □ホットライン(氾濫発生・堤防決壊)(河川事務所一員) □TEC-FORCE受入れ □緊急復旧、堤防調査委員会設置 □リエンゾの派遣
佐賀河川事務所			□佐賀地方気象台との合同記者会見(必要に応じて) □気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)(以降継続) □施設(ダム・水門・排水機場等)の点検・操作確認 □災害対策用資機材・復旧資機材等の確保 □リエンゾ体制の確認 □協力機関の体制確認	□佐賀地方気象台との合同記者会見(必要に応じて) □注意体制の発令(警報が発表時、ダム放流時) □職員出動(急激な水位上昇の監視)	□佐賀地方気象台との合同記者会見(必要に応じて) □注意体制の発令 □洪水予報(予測情報) □水防警報(待機・準備) □流域市町の災害情報収集(以降継続) □ホットライン等連絡体制確認 □リエンゾ派遣に関する確認 □樋門・樋管等の操作委託先へ情報提供	□佐賀地方気象台との合同記者会見(必要に応じて) □警戒体制の発令 □洪水予報(氾濫注意情報・予測情報) □水防警報(出動) □河川巡視による監視強化 □河川巡視で確認された被害情報を市町へ連絡 □応援体制の確認・要請(防災エキスパート等) □リエンゾ派遣に関する確認	□佐賀地方気象台との合同記者会見(必要に応じて) □気象・海象情報収集 □洪水予報(氾濫警戒情報・予測情報) □水防警報(警戒) □河川巡視で確認された被害情報を市町へ連絡 □応援体制の確認・要請(防災エキスパート等) □リエンゾ派遣に関する確認	□佐賀地方気象台との合同記者会見(必要に応じて) □非常体制の発令 □洪水予報(氾濫危険情報) □水位周知(氾濫危険情報) □緊急通報メール □災害応援・災害対策機械等の要請・出動・受け入れ □現地対策支隊の設置 □排水機場運転調整(停止)指示 □ホットライン(氾濫発生・堤防決壊)(河川事務所一員) □TEC-FORCE受入れ □緊急復旧、堤防調査委員会設置 □リエンゾの派遣	
佐賀河川事務所 嘉瀬川ダム管理支所			□下記情報を発信 ・嘉瀬川ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等 □準備体制移行の判断	□下記情報を発信 ・嘉瀬川ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等 □注意体制移行の判断	□下記情報を発信 ・嘉瀬川ダムの「洪水調節開始」の通知や現在の状況等の現状や今後の予定等 □警戒体制移行の判断 □サイレン・警報車等による警報の実施	□下記情報を発信 ・嘉瀬川ダムの「洪水調節開始」の通知や現在の状況等の現状や今後の予定等 □警戒体制移行の判断 □サイレン・警報車等による警報の実施	□下記情報を発信 ・嘉瀬川ダムの「緊急放流予告」の通知や現在の状況等 □警戒体制移行の判断 □サイレン・警報車等による警報の実施	□下記情報を発信 ・嘉瀬川ダムの「緊急放流開始」の通知や現在の状況等 □警戒体制移行の判断 □サイレン・警報車等による警報の実施	□下記情報を発信 ・嘉瀬川ダムの「緊急放流開始」の通知や現在の状況等
県庁			□市町へ住民の早期避難の呼びかけを依頼(必要に応じて) □知事等から県民へ早期避難の呼びかけを実施(甚大な被害が想定される場合) □気象庁、消防庁から気象情報入手(気象情報の把握)	□気象庁、消防庁から気象情報入手(気象情報の把握) □避難情報の発令状況の把握 □対処方針の検討 □管内市町への注意喚起、連携確認 □通信システム、情報連絡網等の再点検 □現地機関、市町へ対応体制整備の喚起 □水防配備(第1配備(準備))	□気象庁、消防庁から気象情報入手(気象情報の把握) □避難情報の発令状況の把握 □市町避難所開設状況の把握 □市町への警戒態勢確保要請 □被害状況等の把握 □水防配備(第2配備(警戒))	□気象庁、消防庁から気象情報入手(気象情報の把握) □避難情報の発令状況の把握 □市町避難所開設状況の把握 □九地整、自衛隊等LO派遣受入の検討・準備 □市町へのLO派遣の検討・準備 □被害状況等の把握 □水防配備(第2配備(警戒))	□気象庁、消防庁から気象情報入手(気象情報の把握) □避難情報の発令状況の把握 □避難情報の発令状況の把握 □被害状況等の把握 □緊急安全確保の発令状況の確認 □災害の発生のおそれ段階での応援の検討(県内応援・緊急消防援助隊) □報道機関への氾濫危険水位超過情報発表 □水防配備(第2配備(警戒))又は第3配備(非常)) □九地整へ出水報告	□気象庁、消防庁から気象情報入手(気象情報の把握) □避難情報の発令状況の把握 □被害状況等の把握 □緊急消防援助隊の把握 □緊急消防援助隊の要請、自衛隊災害派遣要請の検討・実施 □水防配備(第3配備(非常)) □報道機関への氾濫発生情報発表 □九地整へ出水報告	
佐賀県		佐賀土木事務所	□気象情報の把握 □水防資機材等の確認	□気象情報の把握 □対処方針の検討 □管内市町への注意喚起、連携確認 □通信システム、情報連絡網等の再点検 □消防局等関係機関との連携確認 □水防資機材等の確認 □水防配備(第1配備(準備))	□管内市町の避難情報の発令状況の把握 □被害状況等の把握 □水防配備(第2配備(警戒)) □水防警報(待機・準備)発表	□管内市町の避難情報の発令状況の把握 □被害状況等の把握 □水防配備(第2配備(警戒)) □水防警報(出動)発表	□被害状況等の把握 □避難情報の発令状況の把握 □水防配備(第2配備(警戒)) □水防警報(警戒)発表	□気象情報の把握 □被害状況等の把握 □管内市町の避難情報の発令状況の把握 □水防配備(第2配備(警戒))又は第3配備(非常)) □水防警報(厳重警戒)発表 □市町首長へのホットライン(氾濫危険水位到達・土砂災害警戒情報発表)	□気象情報の把握 □被害状況等の把握 □管内市町の避難情報の発令状況の把握 □水防配備(第3配備(非常)) □氾濫発生情報発表 □市町首長へのホットライン(氾濫発生)
流域自治体		佐賀市	□気象情報の把握 □関係機関との連携 □連絡体制の確認 □備蓄品の確認	□気象情報の把握 □関係機関との連携	□気象情報等の収集 □関係機関との連携	□気象情報等の収集 □関係機関との連携 □高齢者等避難 □避難所の開設 □気象情報等の収集 □防災行政無線・エリアメール等による避難の呼びかけ □アラート・HP等による情報発信 □関係機関との連携 □避難指示の発令準備 □県GISでの報告 □排水ポンプ車の派遣を検討・要請	▼高齢者等避難 □避難者の支援 □避難状況の確認 □災害派遣要請の要求の把握 □気象情報等の収集 □防災行政無線・エリアメール等による避難の呼びかけ □アラート・HP等による情報発信 □関係機関との連携 □避難指示の発令準備 □県GISでの報告	▼避難指示 □避難者支援 □避難状況の確認 □災害派遣要請の要求の把握 □気象情報等の収集 □防災行政無線・エリアメール等による避難の呼びかけ □アラート・HP等による情報発信 □関係機関との連携 □避難指示の発令準備 □県GISでの報告	▼緊急安全確保 □災害派遣要請の要求の検討・実施 □救命救助活動要請 □災害派遣要請の要求の検討・実施 □被害状況等の把握 □避難者支援 □避難状況の確認 □気象情報等の収集 □防災行政無線・エリアメール等による危険情報の発信 □アラート・HP等による情報発信 □関係機関との連携 □県GISでの報告
			□災害警戒体制(水防警戒体制)【第1配備】 ※大雨警報の発表時 □災害警戒体制(水防警戒体制)【第2配備】 ※災害対策室設置には至らないが、増員の必要があるとき □災害対策室(水防対策室) ※土砂災害警戒情報の発表時	□災害警戒体制(水防警戒体制)【第1配備】 ※大雨警報の発表時 □災害対策室(水防対策室) ※土砂災害警戒情報の発表時	□災害対策本部【第1配備】 ※大雨特別警報の発表時 □災害対策本部【第2配備】 ※市内全域に甚大な風水害が発生したとき				
		小城市	□気象情報の把握	□災害情報共有会議 □水防団へ監視の依頼	□水防団へ水防団待機水位到達を通知 □水防警報を通知	□災害情報連絡室(第1配備)	▼高齢者等避難 □災害対策本部(第3配備) □ポンプ運転調整(停止) □指定避難所開設 □福祉避難施設開設 □防災行政無線による避難の呼びかけ □アラート・HP等による情報発信 □県GISへの報告	▼避難指示 □災害対策本部(第3配備) □ポンプ運転調整(停止) □内水範囲の確認、報告 □被害状況の確認 等 □水防団へ退避指示 □防災行政無線・エリアメールによる避難の呼びかけ □アラート・HP等による情報発信 □県GISへの報告	▼緊急安全確保 □災害派遣要請の要求の検討・実施 □救命救助活動要請 □災害派遣要請の要求の検討・実施 □被害状況等の把握 □避難者支援 □避難状況の確認 □気象情報等の収集 □防災行政無線・エリアメール等による危険情報の発信 □アラート・HP等による情報発信 □関係機関との連携 □県GISへの報告

【注】上記タイムラインは河川水位情報、気象情報による一般的な事象・行動等を記載したものであり、各機関・市町・事業者がより早期に対応可能な防災行動、避難情報発令等を妨げるものではない。